



「被災したマンション管理組合・分譲マンション関係者の震災体験談サイト」製作の取り組み

鈴木裕人
福島県マンション管理士会所属
マンションサポート福島代表

3月以降、半年間で約30棟の被災したマンションから相談を受けると共に、様々なお話を伺ってきました。震災はいまだ落ち着かぬ状況ではありますが、暫定的に現段階で感じていることを申し上げます。全てのマンションには、築年数・規模・立地環境・管理形態・居住者構成等々の違いによって多少の「雰囲気の差異」があることはご存知の通りですが、大震災後はその差異があたかも増幅されたかのように、各マンションはそれぞれ独特の雰囲気を持って震災復興のための運営にあたっていると感じています。

日本は国内全体を見れば今後も大規模災害の可能性が指摘されることから、小職の事務所では、福島県内に事務所を置いているという環境ならではの出来る事はないかと考え、被災したマンション管理組合の理事長、管理員、工事担当者等の分譲マンション関係者の方々の取材協力を得て、各マンションにおける体験談や取り組みといった貴重な情報を全国で広く共有するべく、インターネットを利用した「震災体験談サイト」の製作を進めております。（「東日本大震災 体験談 マンション」で検索ください。）

津波被害のあったマンション、罹災証明で全壊の判定を受けたマンション、補修工事になかなか舵を切れないマンション、1年前に大規模修繕工事を終えたばかりのマンション……これまで十数棟の取材を終え、また、マンション管理士を中心に数件の寄稿も頂いています。これからは「復旧工事」に焦点を当てた取材や技術的情報も増やしていきたいと考えているところです。